

～笑顔が絶えることのない『住まい』であり続けることを願ってお届けします～



7月号

# 住まいる便り



学校が約3カ月間、休校になったことで、今年の夏休みは今までとは違ったものになりそうです。学校によっても異なるようですが、夏休みの期間は大幅に縮小されるとか。ただ今回は長い長いお休みの後なので、いつもより学校のありがたみが身に染みている親御さんや子どもたちも多いのではないのでしょうか？

また夏休みとはいっても、まだまだ手放しで遊べるわけではなく、新しい生活様式の中でできることを見付けていく必要があります。今までできていたことができなくなってしまった喪失感は、誰にもあります。ですがそこに焦点を当てるのではなく「今できることを探していく」そうした姿勢を見せることが、子どもたちに対する大人の務めかもしれません。もし今だからできる！楽しい夏の体験談などありましたら、ぜひぜひ教えてくださいね。



## 家造りで最初にやるべきこととは？

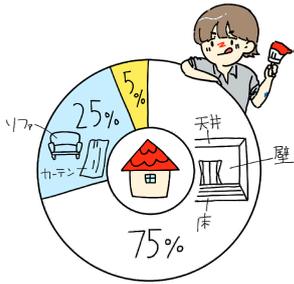
土地があれば間取りを考えて家造りの準備をしていくのが一般的ではないでしょうか。しかし、当社はそのような順番では行いません。というのは、今までたくさんの家を造ってきましたが、問題が何もなかった方は一人もいなかったからです。つまり最初にやるべきは、その問題が何かを探りそれを解決することなのです。この考え方は医療とも似ていると思います。なぜなら実際



そういった問題を放置して家造りを進めてしまうと、途中からそれがより大きな問題となって出てくるからです。具体的に一番大きな問題がお金、次に土地、そして法律の問題といった具合です。これらの問題を解決するために当社では、1回3～4時間の「家造り塾」という勉強会を計3～4回行います。この塾の中で「家とはいったい何なのか？」「どんな家をどんな順番で造っていけば成功するのか？」などを、ジックリと話し合い、説明し、納得していただいて、すべての問題を解決して「これなら安心して安全に家造りを進めることができる」とお客さまが思えるまで先には進みません。このような順番で進めることは時間も手間もかかります。しかし、家造りの目的は幸せづくりです。幸せになる家を造るためには、お客さまと造り手である私たちが信頼関係をしっかりと築くことがとても大切です。ですから当社はそうした労を惜しみません。

## 「5・25・70」さて、この数字は何でしょう？

「5・25・70」は、住まいの色選びをするときに知っておきたい「色の割合」です。新築やリフォームでは、屋根・外壁・玄関ドア・クロス・建具・キッチン・お風呂などなど、実に多くの「色選び」が必要になるためぜひとも覚えておきたいですね。まずは70%。これは「ベースカラー」の割合です。ベースカラーとは部屋の大部分を占める色で、床や壁、天井などに使います。この色で室内が明るい感じになるのか、もしくはシックな感じになるのかが決まります。そして次が25%の「メインカラー」。これは部屋の主役になる色で、ソファやカーテンなどに使います。ベースカラーとの調和を考えながら選びたいですね。最後は5%の「アクセントカラー」です。クッションや絵画、ラグなどに使います。アクセントになるようにメリハリのある色を選びましょう。住まいのカラーコーディネートのコツは、色を「同じにそろえる」より「調和をはかる」です。そのために大切なのが「5%・25%・70%」の割合ということです。



## 2イ音が10イ音になるなんて、ご存知でした？

「3密を避ける」ために、部屋の換気をしましょう！ということがいわれています。一番、手っ取り早いのは窓を開けることですが、窓が1カ所しかない部屋よりも2カ所ある部屋の方が、その効果は10倍にもなるそうです。また窓がある位置も重要で、同方向に2カ所あるよりも、2方向（できれば対角線上が望ましい）に2カ所の窓があるほうが空気は循環します。もちろん扇風機などを利用すればある程度、空気の流れを作ることができますが、この機会に窓の増設を考えるという手もあります。部屋の使い方や建物の構造によっては、大きな窓を設置できない場合もありますが、高所窓や地窓で換気効果を上げるという方法もあります。ちなみに窓の増設は、リフォーム用の窓セットを使えばたった1日で工事完了です。もちろん外壁や内装をやり直す必要もありません。



**有限会社 建築サポート**

**発行責任者：高井弘一郎**

